落日のパトス
4
Rakujitsu
no
PATHOS
Presented by
Tsuyatsuya
艶々
ヤングチャンピオン
コミックス
YC COMICS
漫画村

漫画村ヤングチャンピオンコミックス
YC COMICS
4
Rakujitsu
no
PATHOS
RAKUJITSU-NO-
PATHOS
落日のパトス
Presented by Tsuyatsuya

CONTENTS

[初出] 別冊ヤングチャンピオン2016年11月号～2017年5月号

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

［ここまでの「落日のパトス」は］

漫画家を目指す青年・藤原の住む部屋の隣室にかつての恩師・仲井間が引っ越してきた。同じアパートの〝隣人〟として交流を始めた二人…。

二人きりで海へと出かけた藤原と仲井間。異様な興奮状態に陥った二人は淫らな行為に及ぶものの最後まではいかず、また次の機会を探り合う事に。

一方、藤原の事を狙うまさみは水着姿で藤原の仕事を手伝うという行動に出る。シャワーを浴びる藤原がいる浴室へと入っていったまさみだが…!?

藤原と仲井間、そしてまさみ…。
淫靡なる恋の三角関係は欲望によって新たな局面へと動き出していく…。

【人物紹介】

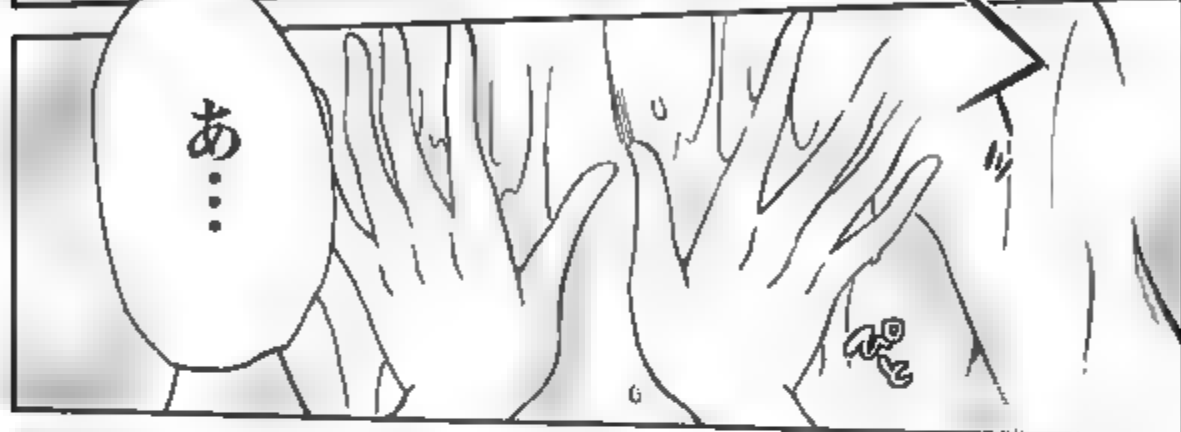
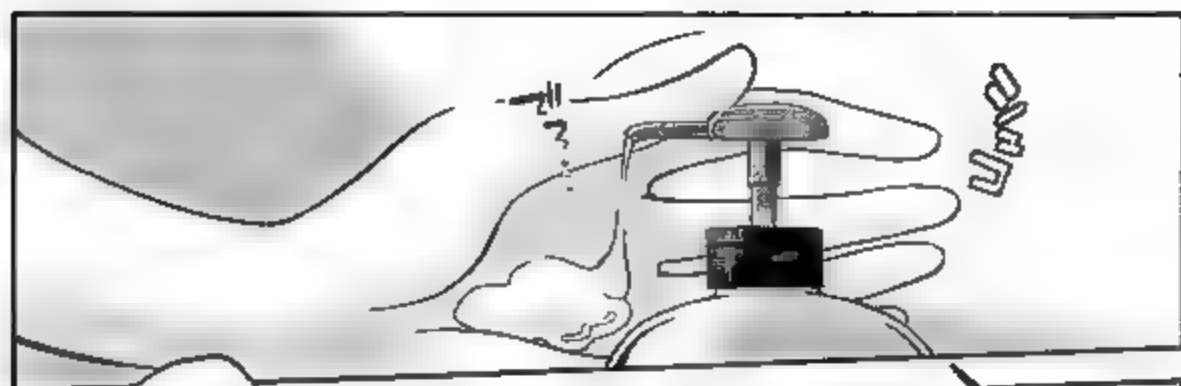
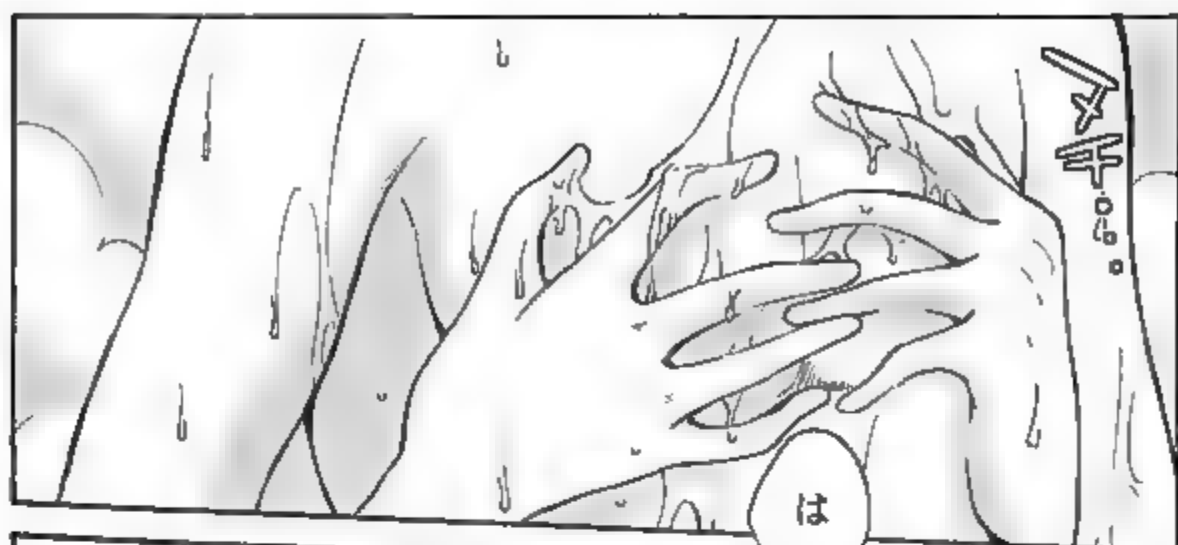
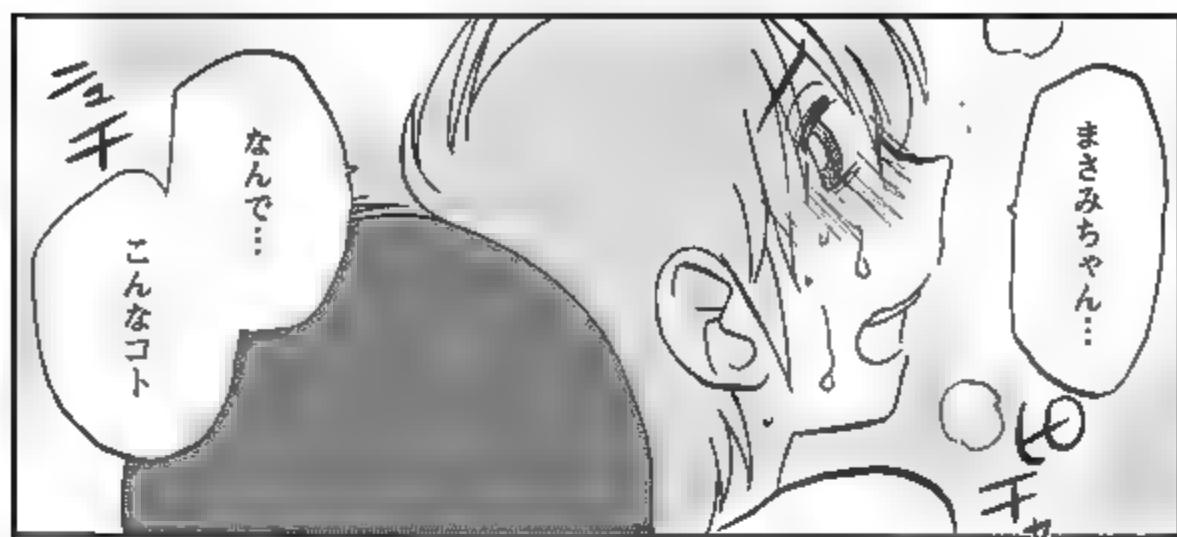
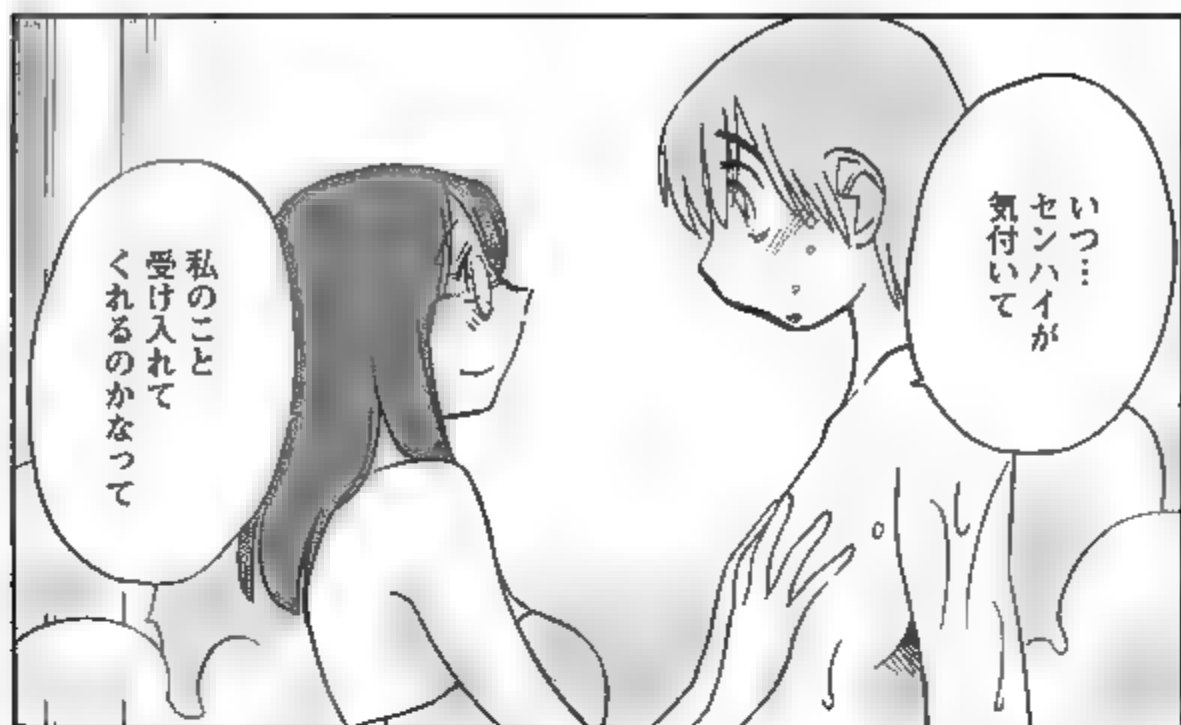
藤原 秋
Aki Fujiwara

連載漫画家を目指す青年。仲井間にかつて犯した行為を後ろめたく感じていた。
普段は物静かな性格だが、性的な好奇心は人一倍旺盛。

仲井間 真
Makoto Nakaima

旧姓：祐生。藤原の高校時代の恩師。現在は結婚し、退職。夫の仕事の都合で藤原の住む町に引っ越してきた。年の差婚で、男性経験は夫ひとりだけ。最近、夜の夫婦生活に物足りなさを感じている。

まさみ
Masami

藤原が大学時代に所属していたサークルの後輩。時々藤原の仕事を手伝ってくれる。垢抜けない感じの少女だが、胸が大きくスタイルは良い。
仕事に来るたびに忘れ物をしてしまう。

え!?
ちょ
第24話
ずっと好きだったの？
え!?
やだー センパイ…
そんなに驚かなくても
ギシ…

いやいや いや！

だって…！

どうして…

あ・・・
ぺと
にゅる

ヌチ。。。
は
グチュ
あ
う

まさみちゃん…
ピチャ
なんで…
こんなコト
ニュチ
ぼく…に…
あっ…
ヌル。
センパイ
さっきも
それ聞いた
そんなの
決まってるじゃ
ないですか

センパイのこと
大好きだから

す…好き…ってそんな…
いつ…から
ずっとですよう
学校にいた頃から…
いつもいつもセンパイの近くにいたでしょ？
そ…そういえば
そんなような…

いつ…
センハイが
気付いて
私のこと
受け入れて
くれるのかなって
ずっと
思ってたのに
あ…
あー…
うん…
そっか
フフ…でも
いいんです
それも
センパイの
いいとこ
なんですから…
あ…

あは
かたァい

ちょ……
まさみちゃん…
そんな
きゅ
あ
あ
あっ
ビクッ
はっ
ああ…
センパイッ

キモチいい
ですか…？
あ……
うん…っ
あはっ
うれし♡
うあ

はっ
あ
い…
うっ
う…あ…

ちく…びを
…そんな…
あん
センパイ
ガマン
しないで
声出して
いいんですからね
チュッ
そ…んな
こと
ゆわ…
れても…っ
ひはっ
チュッ

なにコレ
はっ
はっ
なんでこんなコトになってんだろ!?
まさみちゃんは僕が好き…!?
はぁ
うん…
それはわかった
でもだからって
あは
順番おかしくね!?
ギュゥ
こんなコトいきなりするのって

フツーは
告白があって
ほわ
ほわ
返事して
ＯＫして
デートしたり
して
手エ
つないで
エヘヘ
アハハ
ウフフ
それから
チューして
ちょっと
触れ合って
もっと
キスして
それから
同意の上で
やっと…
って
はっ
それ
すっとばしたら
さ
あっ
センパイの…
ストーリー的に
ムチャクチャ
だし…っ
すごい…
先っちょから
出てる♡
フフ

こんなムチャな展開……
もうガマンできないの？
!!
わあ
目の前で見るとすっごい

もう出ちゃったみたいに
トーメイなのがあふれてる…ッ
ふふ
……
……
あは…っ
ぬちゅ
お……っっきいイイ…
き…
なめちゃおっ
か
なァ

キモチいいから
とりあえず
どうでもいいや…ッ
チュ…
き…っ…

あ
は…

あ…
あ…っ
は
は
は…っ
!!
あっ
ごっ

ご…ごめんっ
まさみちゃ……
はっ
あ…っいえ…
カチャ
うふふ嬉しい…センパイ
わたしでこんなに感じて…くれて…
……
すごいなセンパイ
まさみちゃん…
こんなに…身体中かけられちゃった…
ゴク

じゃ…
じゃあ
そんなに
汚れちゃったし
その…
水着…
脱がなきゃ…
ね?
あっ
そうですね
じゃあ
センパイ
出てもらえますか?
え…?

わたしもシャワー浴びていきますから
え？
センパイ戻っててください
えっ
グイ
えっ
グイ
スッキリしたし！
今度はお仕事頑張らなきゃですよねっ
ハァ
じゃあ急いでシャワーしますっ！

センパイ
この背景
どうです？
あー
うん
いいね
よかった！
じゃあこれで
ペン入れします！
…うん
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
なんだ？
なんなんだよ!?
この子は
……!!!
カリ
カリ
カリ
カリ

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

551
第25話
あんな女と
なにしていたの?

403
仲井間

どゆこと!?

なんで…

なんで
アキ君の
部屋で
あの
あの

あの小娘が

水着になってるの!?

なんなの…？
なんでなの…？
ていうかあの2人…やっぱり…なんか…
おかしくないか…？

フッーの仕事のつながりであんなコト
するかしら…

でも…
だから彼女じゃないですってば

………

…あんなに否定したくせに…

あははは
やだぁ
寝てますよ？
うふふっ
！

…なんだか…
…楽しそう……

……
ススス!!
ぴと
よかったですぅー
おかず
いただけて
そだね
米以外
なんも
なかったしね—

そういえば
知ってます？
肉じゃがって
彼女に作ってもらって
嬉しいモノ・ランキングで
一位なんですよー
えっ
そうなの？
!!

あはは

ふふ

フ…
フフ……

うとまれついでだ

掃除機の騒音で

その楽しげな会話の邪魔をしてやるわぁ

そうよ
これで
ついでに
ダイニングの
掃除も
しちゃったりして
ガー
みよこの宇宙最強の吸引力
ゴー
………
ガー
台所から
掃除機かけてるんですね
珍しい
しかもこんな
時間に…
ガー
非常識
ってか…？
ハッ
しょせん主婦の
苦労も知らん
ガキよのォ
ガー
ガー

しかし…
なるほど
なるほど
どうもこりゃ
アキ君に
私の悪い印象を
植えつけようと
してるのね
つまり…
私を
敵と
みなしたか…
てことは…
あの子は
アキくんを…
………
まぁ
…でも
それはそれで
健全なコトか…
そもそも
結婚している
私とアキくんが
あんなコト
してるのが
おかしいワケで…

そうね…
アキ君にあんな子がいるなら
ガラァ――

私は…
大人としての対応をしないといけないのかな…

えーでもセンパイ白ご飯ないと辛くないですか？
え？
ガラァ――
ほらこのおかずちょっと味が濃いしー

なんて
ゆーか
ほら
・・・
イナカな
感じの
濃ゆーい
お味だからー
くる
くる
小童!!
こわっぱ

ダメだ!!
いけすかない女は
どうあってもダメ!!
じ――ん…
倫理がどうとか
しったことか!!
あの女は・・・イヤだ!!

…ていうか
…アキくん
あの子の
どこが
いいんだろう…

なによ
ほんと
ちょっと
前に

私と
海行ったり
したじゃない

そうよ

私のオッパイさわって

あんなうれしそうなカオしたくせに

し・て・あ・げ・たじゃ
ないの…
ガラッ
あ
あちゃっ
…なに？

なんか…
トラブル…？
じゃあセンパイシャワーあびちゃってください
あー
!?
先にシャワーしてくるよ
いえ！ゆっくり入ってください

ウソでしょ？
あの2人は
まだ
そんな
関係じゃ…
……
ううん…
そんなの…
わかんないか
ほんと…
私アキくんのこと
なにも…
ガタッ
あっ
なになにっ
まさみちゃん
…!?
エヘヘ
だから
お背中
ながします
ってー
!?
!

せっ…背中…？
おフロ…!?
くっ…音が…遠い…っ！
音は むこうかっ
バタッ
……!?
し————ん…
おフロへ一緒に…

アキくんと
あの女が

いっしょに
おフロ…

ってことは

ああ
——やっぱり
そんなのヤだな……………

チュン
チチチ
じゃあ――お疲れさまでしたっ!!
うん
ありがとう……
始発もう出てるよね？
はい！
じゃあまたそのうちお願いするかもだけど…
あら！そんなこと言わずに
全部呼んでください！
ワタシセンパイのとこ専属で入りたいくらいですから！

は…はは
そのうちね
じゃあ
気をつけて！
はい！
失礼しまーす！
……
はー…
なんか…
疲れた…な
キィ…
？
ギク
!!
せっ…
せんせい!?
こんな
朝早く
どうしたん
ですか…

アキくんが
あの女と
へんなコト
しないか

ずっと耳を
欹(そばだ)てて
聞いてたから

眠れな
かったの

アキくんともっと仲良くなろうって
よかった
楽しみにしてるから♡
少なくとも
あの女よりは!!

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

第26話
どうしてそんなに
イジワルなの？

う〜ん
いや
女の子とか
いい感じ
だけど
ただちょっと
全体的に
粗いねー
今回
あ…
えっ
そっ…
そうです…か
まあ
酷いわけじゃ
ないけどね

なんか忙しかったりした？

は…っ忙しい…っというか

そりゃもう…エライことで

いや…とくに…

そうかー

いや でも まあいいよ

逆にそのおかげで迫力はあるかも

はー…
連載かー

ガタタン
連載になったら…
やがて単行本とか出るのかな…
ガタタン

そうなったら少し余裕もできるし
へへ
職業欄に"マンガ家"って書いても怒られないよな

いやいやまずは皮算用よりも

うん…ネームだな
しっかりと…

アーキくん!

今帰り？

ちょうどよかった
晩御飯作ったんだけど

一緒にどうかなって
ほら
……
約束もしたし？
……ぜ…ぜひ
わあい♡

――で
なんで僕の部屋で…
んー？
だってさすがにウチに何度も招き入れるのもなんだしさー

ここでなにが起こったのか
詳しく聞きたいなー――って
ハイ
は…はは…
ドボ
ドボ

あれ？先生は飲まないんですか？
あー私今日ダメなのよ

さっき急に
旦那さんから
最終の新幹線で
帰ってくるって
連絡がきてね…
さすがに のんで 待つの

……って

ここで
こんなコト
してるのは
いいんですか？
……
ご飯
食べてる
だけだもん
元教え子
と

…でもまあ
その方が
荒れなくて
いいか…
よっぱらうと
すごいから…
あ
おかずも
食べてね
あ
ありがとう
ございます
いただきます

むぐ
むぐ
むぐ
ゴクン
あの…どこまで…聞いて…
え——
べーつにい——？
たいして聞こえてないけど…
ただ

アキくんは
ずいぶんと
あの子の肩を
持つんだなァと
思っただけ

田舎者の
濃い味だとか
こんな時間に
掃除機かけるんだ
とか
こんなおかず
重いだとか
まあ大して
気にはして
ないのよ?
ぎゃおっ

そうですか…
全部
聞こえて
ましたか
……

ううん…
全部じゃ
……ない

あの子
アキくんに
お茶を
こぼした
そんでもって
たぶん
火傷しそうに
なった…よね？
でも…
あのあと…
聞こえなかった
ううん
厳密には

アキくんが
まず
お風呂場へ
行って
それから
彼女も
……
入っていった…
──よね？
…………
えっと…
その…
…………
ええっと…

ガタッ
もうっ
!?
ビクッ
ごっ
ごっ
ごっ
ぷはーっ
ええいもう
まどろっこしい
早い話がさっ

2人で風呂場で
・・なにしてたのよっ
ガッ
いっ
そこまでわかってんだからねっ

なに…って
そんな…
まさみちゃんは
水着だから…
グググ…
そのまま
…で
べつに
…なにも
うそ！
ハダカ同然の
女の子と
一緒で
アキくんが
なにもしない
ハズがない！
それに
あの時
アキくんの
叫び声が
聞こえてた

なにかに
驚いてた
あんな声
ただ風呂場に
いただけじゃ
出さないでしょ
そんな
…こと
……
！

……‼

頬に
あたる
この
感触…
これは

おっぱい

…………っ!!
すはー
…………
ほら
アキくんはやっぱり
・・・そういう子なんだから
…!?

ゴソ…
ミュルッ
スル…

ほら

ブッ…

ブッ…ラッ
でかっ

ボフッ
どお？
シャツ越しだけど…
ーっ
……っ

アキくんの好きな
おっぱいだよ
……っ！
……
スス…
ススス…

ハイ ここまで

グイッ

ただし…
あの女とお風呂でなにがあったか
全部教えて
え…
ぜんぶよ
つつみ隠さずね
そしたら自由に
触らせてあげるから…♡

RAKUJITSU-NO-

PATHOS

4コマのパトス

漫画ってこうやって描いてるのねー
先生も描いてみます？

なにこのつけペンってやつ
ギャー インクが
難しすぎ
どうですかー？

ふふっ
…なんとか！
ダンチ♡

けっこうイケメンに描けたんじゃなーい？
うふふ
どやぁ
上手ですー
僕じゃないのか…
しゅん

第27話
どんなカオでイっちゃったの？

さあ
ほら ちゃんと 教えて

風呂場に 入ってから
何が 起きてたのか

は——

!!

アキくんがちゃーんと話してくれたら

ほんとに触っても…
いいのに……な
え…
えっ
えっ
…
わたし…

いったい…
なにしてんだろ
…!?

元教え子相手に…
こんな胸をエサにして
…

……これ一種のセクハラじゃなかろうか?
みたいの

いやそもそも
こんなので普段エッチな漫画描いてるような人間が釣られるなんて…

そっ…その
僕がシャワー
浴びてるとこに…
勝手に
…ドア開けて
入ってきて…
わあ
アキくんって
かんたーん

……
入ってきて
それで?

せ…石鹸を
…つけて…
僕の背中を
流すから…って
背中から
だんだん…
ゴクリ

こう…
手を…
おなかまで
回してきて…
そのうち…
前に回って

グ…ッ

僕の…
乳首に…
…その…
キスを
して…
ちくびに
キスを
くねっ

き…
気持ち…よかった…の……？

気持ちよかったっていうか…
それで…
なんで…僕にこんなコトをするの…って聞いたら

センパイのことが大好きだからじゃないですか
――って言うし…
正直あの子にそんなコト意識してなかったから

んなこたァ
どうでも
いいんだよ
その先あの女に
なにされたか
それを聞きたいんだよ

ふ…ふうん

そっかァ
アキくんに…
そんな気は
なかったんだァ

それから
どうなったの？
…どう…っ
……って…
そうかぁ…
僕のことを
…って…
それだけ
ハハハハ
……
ほんとに？
ズイ

…や……

やだなあ…
ほんとですよう〰〰〰

それ以上いったいなにが…
ハハ…ハハハハ

ウソだな!!
アキくんのこの目はウソの目だ

?

ちょっとトイレ
あ…ハイ

バタン

むう…
これくらいじゃ吐かないか…

うーん
かといって見せちゃう…のは…ちょっと…

エサ…
なにかアキくんのエサを…

は——……
おまたせ
あ

スッ
え…
カチャ
カチャ
!?
ドスッ

さあ
つづけましょうか
せんせ…なっ…なんでそんなところに…
アキくんに
本当のことを話してもらうためにね

ぐっ
え・・・
ぴら〜ん
わかる?
これ今
脱いだの
これが
ほしけりゃ
本当のこと
話しなさい
ファファファ

ほ…ほしけりゃ…って…
て…ことは…
先生…

いま…
それ…
ここ…

あ…っ

パンツをエサにと思ったら
あらやだ
自分をエサにしちゃってる…
足がはずせない…

ま…まあいいわ
ほら
のぞきこまないっ!!
びくっ
……
……
ほらこれ以上をなにかこう……アレしたかったら
まあいいやもう
本当のこと……その先も話しなさいっ
カづくでッ
…
その…
!
まさみちゃんが

僕の…チ……アレを握って…

〝固い〟…って

…こわい
この先
聞くのが
自分で
ふっといて
なんだけど

このアキくんが
……
あんな女と
……
まさみちゃんが
……口で……
口で

それで……
はっ…

舌の先が
…ちょっと…
触れた…のかな

僕は
それでもう…

ぱーーっと

全部…
カオに

かおに…
ぜんぶ…っ
ぞく
ぞく
ぞく

かお…に…

こっ…これで おしまいで…
ほんとにっ これで 全■ですっ!

全部 言いましたよっ
だから…
え?
だから 先生っ
ヒザ… はずして…
そのっ

やくそく
ですよね!?

そう…
そっか…
顔に…
……
……!!

か…
ピロロロロロ
ピロロロロロ
あああぁ
ダンナさん
もう駅!?
え?

すぐ戻んないと!!
じゃあアキくんまたね!!
ガバッ
お仕事がんばってね!!
バタバタ
ガチャッ
バタン
……

——!!

……!!

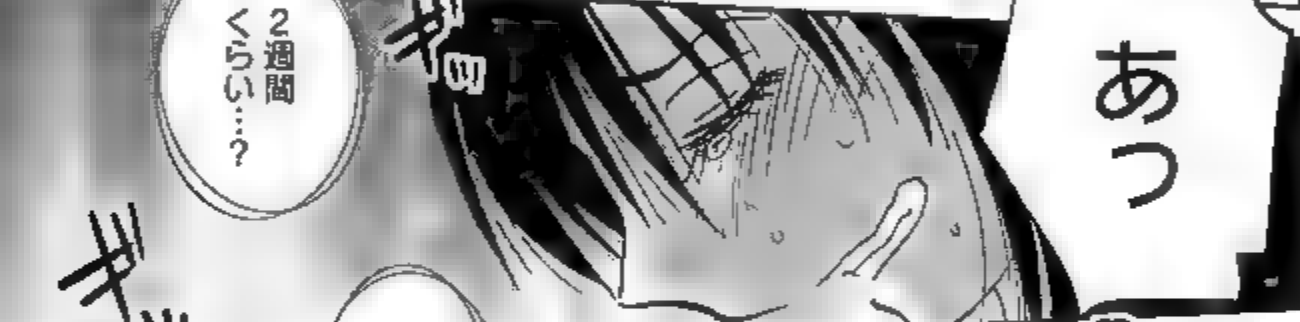
ふふ…
ふふふ…
先生…
今夜もおカズをありがとう…
ハハハハハ

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

RAKUJITSU-NO-

PATHOS

第28話 キミはどうせ聞いてるんでしょ?

ん…ひい…ッ
ひさ…しぶり…いっ
第28話
キミはどうせ
聞いてるんでしょ?

はっ
あ
してなかった期間って…
あっ
2週間くらい…？
あひ
あん
なのに
あっ
あん
すっごい久しぶりみたいに

はっ
これ…は
はあんっ
敏感になってる…
あ
ひあ
たぶん
だめ

最近ずっとアキくんと
…くっ
いくぅ
ヘンなコトしてたから……だっ
いくっ
あ――……ッ
ガク
……ッ
ガク
ああ…そうだ
…く…はっ
ガク
アキくん
ガク

漫画村
隣にいるんだ
またわたしの
こんな声
ズドッ
ギシ
は
はひ
ふっ
ギシッ
恥ずかしい声……
ズドッ
あ…はっ
聞いてる…？
はっ
ズドッ
あ
ギシ

先生の声を聞いて…一人で…！
あっ……

あ…
はあッ
はっ
ああ…

ぜったい…
ギッ
ふっ
んふっ
いま聞いてる
ふんッ
ギッ
んふう
ギッシ…

あの子は
耳をそばだてて!!
あの…
おチンチンにぎって…
ふあ
あ
あ…
わたしの声を聞いて
オナニーしてるんだわ

ぱーっと・・・
全部…カオに……
ああ
いいな…
わたし…
あ…あなた…っ
えっ
ズン
わたしも
わたしも!!
かっ…
ズン

顔……っ

………
……ううん

なんだろう…ね…
ハハ…

ハハハハ
なんだお前は
ポム

ヤバかった

「顔にかけて」とかどこで覚えてきたんだって言われそう…
──っていうより
あの体勢から
どうしたって顔に…なんて
できないよね…
CONDI

ふ…ふふ…
かあ…
顔…に…か
あれを……

Face Wash
キュ
トロ…ッ

……
なんかちょっと…
にてる…!!
べちょ…
わ……
あ…はっ……
じゃ…
じゃあ…

こう……
たとえば正常位として…
えっと…
こ……っ
こんなふう…？

ああ

先生…

せんせいっ
はっ
あの
切ないカオで
あのカオで
はっ
ガッ
ドピュッ
SHAM
Natural Hair

かおに……

へぐっ…
ビクッ
ビクッ!!

ビクン
あ……
ビク
ビク

いだだだだだ
目が
目があああ
ギュ
ハ

うべェ〰〰
そして苦い…ってか
ヘンな味…
……
アレも……
苦いのかな…
……

いってらっしゃーい
……
こう…
朝日の中で
夕べのことを
思い出すと…
果てしなく
空しいこの感じが
なんとも……
なにしてんだ
私…って
ガチャ
!
おはよう
ございます…
アキくん…
お…
おはよう…
や…
声が
したもので

あの…これ
お返しします…
その…
昨日の…忘れ物を…
忘れ物？
ガサ
あ…ッ
パン…下着ッ
……
その……
ちゃんと…洗っておきました…から……
……えっ…

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

しかし…女の人って身に着けるもの多くて大変そうだな

最近は男用ブラもあるみたいだけど…
女性用とは違うし…
肩こりそうだ

・・・・・・・

バッ
いやいや
バッ
違うっ
違うぞ

第29話
もうおかまいなしですか？

さあ…
担当さんにも
ハッパ
かけられた
ことだし…

いよいよ
正念場だ
次のプロットを
ビシッといいの
出していかないと

集中して
いかなきゃ
集中………
ゴゴゴゴ

ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ
しかし
脱ぎたてパンツと
ブラ外したて

ていうか
さ――

眼前に
生乳と
生足に
ノーパンで

そこまでしといて
ごめん帰るわ
またね
え？
あんな尻切れトンボの終わり方って

しかも
こんな忘れ物
置いていってて
平静で
いられるはずが
ないじゃないか
すっ
はっ
まったく！
はっ
あ
…先生の…
いいにおいが…
する

でもって……
…こっちは…

先生がさっきまで穿いていた
ゴクリ
生パン……

…先生…こんなレースの…穿くんだ…
あっ…
リアルな想像は…
くるなぁ……
だって…さっき…まで…これが先生の…こっ股間を…

いや！
グ
だ…だめだよ
いくらなんでも…
これを使って…
オナニーとか…
さすがに…
そこまでやっちゃあ…
もう本物の…
本物の…ヘンタ…
あ
あーー
あ
あ

あーーっ
あっ
あ
はあ
あん
ああん
ひさし…ぶりいっ……

な…
なんだよう…
あー
やんっ
じ…
自分はさっさと
こんな…
あっ
こんな声
だして……
きもちよく…
あん
あれ…
でも……
声抜けてるの
知ってて…
これって…
あ
ってことは…
僕に聞かれても
かまわない…
…ってこと…？

あ――
見せてもらったって
ギッ
あ
あ
ギッ

いいよね!?
ギッ
あ
ギッ

うわぁ
ん
はあっ
久しぶりに見ちゃったけど
あ
あは

あの巨大な乳も大きな尻もけっこう細い腰まわりも
そのわりにおヘソの下に少したまってるお肉も
わりと扁平な足も細い足首も
最近少し伸びた黒い髪も体毛が薄いわりに濃い下の毛も

以前見たときより
ずっとずっと
あ
先生の身体を
よく知ってるから…
ギシッ
ギシッ
あ
ギシッ
よけいに
エロい……
はあ
あん
ギシッ
よりナマナマしく
見えちゃって…
ああ……
はっ
ああああん
ギシッ
ああ…
でも
やっぱり
いちばんは
あの

あ―
先生のゆるい
口元が…
バカっぽい感じの
そのカオが
最高で――

あっ
あん
あっ
あなた…っ
はっ
かお…っ
はっ
なんだよ…
先生
あ
先生も…
さっきの僕の話
思い出してるんじゃ
ないか…
あっ
あんっ

なにを遠慮してたんだ
僕も
あっ
はっ
きっと先生も
あ
あぁ
ああっ声とっ
ニオイと…
3Dだっ
はぁ
先生……
先生のにおいっ
はっ
あん
はっ

ものすごく
あ……
ビク
ビクッ
変態なのに
あ……
あ
はっ
ガク
ガク
はっ
はっ
はっ
……
はっ
はっ
ブロット…
やらなきゃ…

先生…あの……これ
えっ
あっ！パン…
えっと…
その…ちゃんと…洗っておきましたから…
えっ…
洗った…って…
あっちゃんと手洗いで…やさしく…
……
ひょっとしてアキくん…私の…これ…

使・・・ったの……？
ビクッ

…だって…先生…
ゆうべ…も あんな…大きな声で……
！

だから…その…
いっぱい…その…僕のアレで汚しちゃって…
キレイに洗いました…
モジ
モジ
……… いっぱい…
……

そのままでよかったのに…
ボソ
え？
ううんっ
なんにも
ま…お互い様ってことにしときましょうか
はあ…
なにが!?
アキくんは今からお仕事？
いえ朝までプロット…ネタやってて送ったので…
少し寝ようかと……
徹夜で!? 大変だねー
じゃあおやすみー
はい…おやすみなさい
……
ガシャン

は――……
ガシャーン…
寝られなかったのは先生のせいなんですよ…
と言えるわけもなく
はー…
結局…
寝られないんならってんでしょーがなくプロットとか描いてたけど
集中もクソもないもんなー
…………
先生って…
ほんと…僕にとって疫病神なんじゃなかろうか…

こう…
仕事の妨げに
なる…
!
あっ
担当さん!?
はい!
もしもしっ
あ いえっ
大丈夫です
起きてました!
はい!

はい…
はい……
…はい?

え?
決まった?
連載!?

今回送ってきた
プロットさ!
あれすごく
いいよ
荒っぽいけど
それが味になりそうで
デスクに見せたら
これでいけるって!
は…はいっ
たぶんこの後
編集会議にかけるけど
たぶん本決まり
だろうから!
はいっ

先生ってやっぱし幸運の女神なのかもなあー

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

４コマのパトス

あぁっ
あ
声とニオイと3Dだ
あっ
あん

顔……っ
顔射!?
くわっ

…なんてね…下着洗わなきゃ…
ん?
あ
先生またヤッて…!?
あっ

いけだぜ
レベル高い…
目が目があぁ
眼射!?

第30話
いつの間に
ドロドロですか？

カタ
カタ
とりあえず連載開始は3か月後からね
ちょっと間があるけど初めての連載だからちょうどいいでしょ
描き溜めもできるしね
で
その間にうまくアシスタントを見つけられたらもっといいね！
うーん…
まあこんな感じかなぁー
カタ
カタ
カタ
苦手だなーこういうの…

まあ一応
まさみちゃんも
いるし
パタン
なんとか
なるとは
思うんだけど

あーそうだその
まさみちゃんに
まだ話してないや
んー
早めに連絡
しないとなー…
はー…
しかし…
そうか連載って
ことは…

毎月…ここに
何日も誰か
いることに
なるんだよな…
カラ
カラ
…となると…

あの〃声〃は…なんとかしないと……

やっぱ…うん…
まこと先生に話しておいたほうがいいよなぁー
ヒョコ
なに？呼んだ？
わあ

先生…なに…して…っ
いや…今洗濯物取り込もうと出てきたら呼ばれたしー
あ…そう…でしたか

……

あの…先生
今夜って
空いてます…？
え？

今夜…って
旦那さんは…
ちょうど出張で
いないけど…

……夜に
…って
ど…
どういう
イミ…？
えっ

いやっ
ちがうし
ちがいますし！
そんなんじゃ
なくてっ
あ…
あ——
そ——

単にご飯とか
一緒にどうかなって
あ…ああ
そゆこと
それに
他にも
報告したいこと
なんかもあるし
……だから

ん…
それなら
いいよ

じゃあ
夕方ね
はいっ

かぶや

連載!? すごいじゃない!
あはっ ははは…
おめでとう!
…ありがとう ございます…
ザワ
ザワ

でもじゃあ これから 大変だねー

ええ
だから今もう一人 アシスタント 探してて…
ピク

もう一人… ってことは
…あの子も くるんだ…
あっ えっと

でも逆に もう二人きりに なることも 少なくなるって いうか——

いやべつにー まあ私は いいんだけど ——
……………
あの…それで あの 話の もうひとつは……
そうして… アシスタントが 来たりしたとき…

その… 「声」……が けっこう 聞こえちゃうんで………
気をつけないと ……な…って

か……

……そう…ね

ザワ
気を…つける ……わ
ウーロンハイ
生ビール
…はい
ザワ

でもく!?
おかしいよねー
そもそも
なあんで
そんな
アキくんの
都合でさー

うちの
夫婦生活が
制限されるワケ?
ん?
まあそりゃ
そうなんですけどー

そもそもは
このマンションの
壁が薄いせい
ですし…
ほんっと
安普請
よねー!

まあどうせ取り壊し予定のマンションだしー
多くは望まないけどー
あ?
先生!
先生っここ3階!
僕らの部屋4階だからもう1階上…
え?
え
あ…開いてる…?
………
空き家…みたいね…

ね
入ってみよっか

やっぱりもう僕ら以外あんまり住んでないんですね
……

えっ
でもっ
バレたらマズいんじゃっ…
大丈夫よわかりゃしないいって
そもそもこんないい加減な管理なんだし

わー同じ間取りだー
あたりまえだけど
家具残ってるんですね
置いていったのかなー

すぐ外に街灯あるからまだしも…
一人だったらちょっと怖いですね…
そうねー

あは
こうして窓に立ってたら…
外から見つけた人ユーレイとか思うかしら
ちょっ…先生

まずいですって……!
——!

先生…髪…
伸びました？
んー？
そうねー
最近は長めに
してもらってる
かなー

よく考えたら
これから僕が
忙しくなって
いくと

そしたら
もう
こんなに自由に
できなくなって

先生と
いられる
ことも
少なくなって
くるのかな…

すはー
すー
あ……やべ
どしたの
アキくん

なんか
部屋の
暗さと

…………
先生……
不法侵入の背徳感が合わさって

…おいわいをください…
雰囲気で
くっついちゃった

先生…が言ったとおり…
マンガ家になるんだって強い意志をもつの－
頑張って…マンガ家になって…連載とりました…
だから…

おいわい…って

どんな…？

──キスは
だめ
わたし……
これでも
人の妻だから
……ダメ…
そんな
………
だって…
…いままで
…あんな
エッチな…

だから……
うん…
そういうのだけなら…ね
さっき言われて思い出したよ
初めて会った高校生の頃のアキくん…
あ…っ
とても……
こんなコトする感じのコに見えなかったのに……な

あ…でも保健室で
私のオッパイ
触ったっけ……
ああ
あっ…
あれは……

あいかわらず
このひとの
論理は
メチャクチャだ

キスは
ダメだと
言っておきながら
こんなことは
OKなんて

……
アキくん……
きもち
いい……？
あ…
うん……
ああ
でも
もっと……
つよく
しても…
ほんと
ん…
こう……？
まこと先生が
あっ
あ

は

あ

は

あっ

あっ

こんな……

ねェ
アキくん…

アキくん…
も……

さわって…い…
いいんだよ
……?

わたし…の…
……も

こんな
オンナのひとで
よかった

グイッ

あっ?

あっ

あ
はっ
スルッ
え
え？
はっ
パンツ…っ

うそ

直(じか)…

あああ
せんせ

ドド

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

あっ…（察し）

あとがき
#27の舞台ウラ。
4巻まできました！
手にとって下さった方
ありがとうございます。
その辺で担当さんが
変わりました。
連載当初からの
キドコロくんがいなくなり
どうなることかと思いましたが
その後を継いだスギヤスくんと
打ち合わせでイイ感じの
妄想をブチ込んでくれるように
なってきて ひと安心です。
こうして作者といろんな人との
妄想と願望でパトスは
できあがっていきます。
このつづきも近々御期待！
2017年4月吉日
トイレで脱ぐ
まこと

RAKUJITSU-NO-PATHOS
次巻予告
迷いはなくなった…。
暗がりの中、求め合う二人。
背徳の隣人愛欲物語。
ああっ
こお…?
おなじこと考えてるん
ちょ
うそ
は
先生…ここヌルヌル…ッ
あっ…
やっ…
だめ
はっ

漫画村
もう戻れない…。
淫靡な夜に…
闇が二人を包んでいく…。
激しさを増していく行為の中で
暴走してしまった藤原。
もはや収拾つかず…!?
あ
アキくんと一緒にいると
はあっ
わたしったら
はっ
はっ
狂ってる
加速度的に崩壊していく秩序…。
『落日のパトス』最新第5巻を乞うご期待。

■ヤングチャンピオン・コミックス■

落日のパトス④

2017年7月1日　初版発行

著者　艶々

発行者　沖　浩

発行所　株式会社 秋田書店

〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03)3265-7362　販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373
振替口座　00130-0-99353

印刷所　三省堂印刷株式会社

Printed in Japan

ISBN978-4-253-14074-4

デジタル版　2017年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com